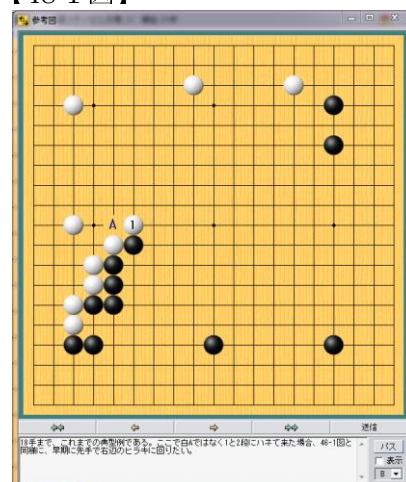


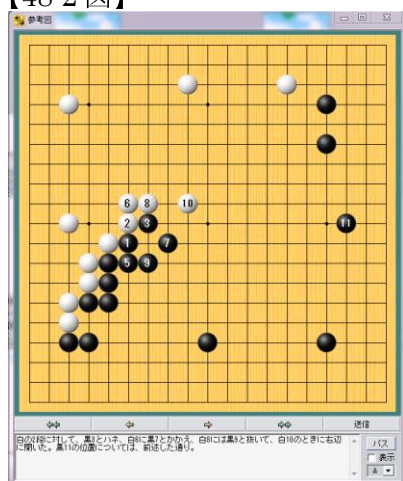
13. 新たなパターンの出現 2

【48-1 図】 18 手まで、これまでの典型例である。ここで白 A ではなく 1 と 2 段にハネて来た場合、47-1 図と同様に中央の勢力争いで忙しくさせる作戦である。早期に先手で右辺のヒラキに回りたい。ここを継続したため、右辺のヒラキや白隅への侵入の機会を逃すのが、負けパターンの典型であった。

【48-1 図】

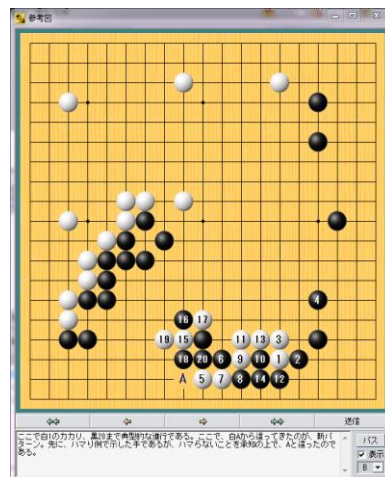


【48-2 図】

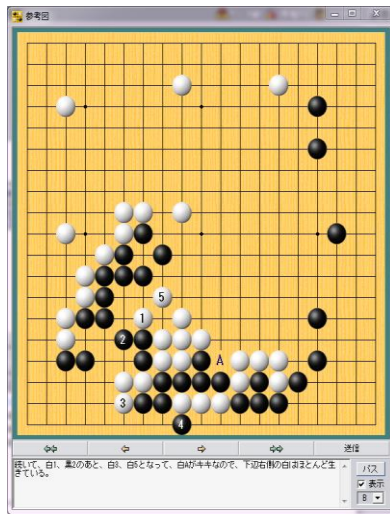


【48-2 図】 白の二段に対して、黒 3 とハネ、白 6 に黒 7 とかかえ、白 8 には黒 9 と抜いて、白 10 のときに右辺に開いた。黒 11 の位置については、前述した通り。

【48-3 図】

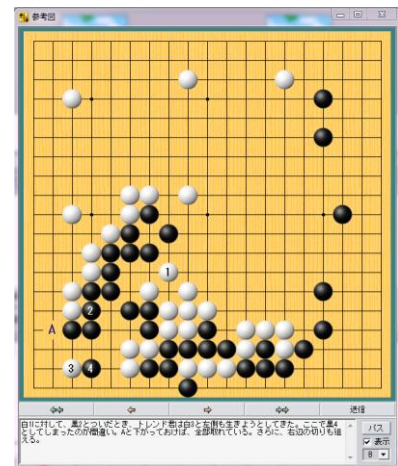


【48-5図】



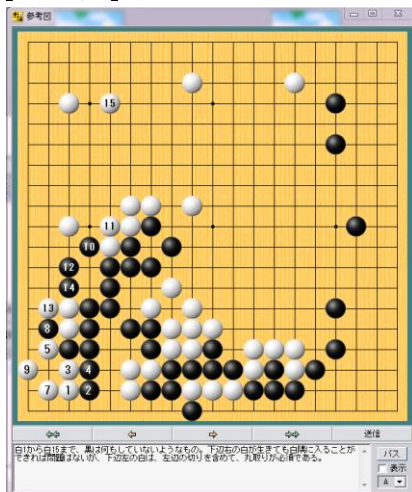
【48-5図】 続いて、白 1、黒 2 のあと、白 3、白 5 とな
って、白 A がキキなので、下辺右側の白はほとんど生き
ている。

【48-6図】



【48-6図】 白 1 に対して、黒 2 とついだとき、トレン
ド君は白 3 と左側も生きようとしてきた。ここで黒 4
としてしまったのが間違い。A と下がっておけば、全部
取れている。さらに、左辺の切りも狙える。

【48-7図】



【48-7図】 白 1 から白 15 まで、黒は何もしていないよ
うなもの。下辺右の白が生きても白隅に入ることがで
ければ問題はないが、下辺左の白は、左辺の切りを含め
て、丸取りが必須である。(以下略：白中押し勝ち)